

夏季休暇期間中のアフリカ豚熱、口蹄疫、 豚熱等の防疫対策の徹底をお願いします!!

口蹄疫は依然としてアジアで広く発生しており、インドネシアのバリ島でも発生が確認されています。アフリカ豚熱はヨーロッパ及びアジア（一部の国・地域を除く）地域で発生が拡大し、イタリアでは野生イノシシと飼育豚で発生が確認されています。新型コロナウイルスに関する、入国者に対する入国時検査の免除等がなされ、外国からの入国者が増え、人・モノの移動が増えることが予想されます。

豚熱は本年1月以降、北関東を中心に、豚熱ワクチン接種農場6件において発生が確認されています。豚熱はワクチン接種のみで発生を抑えることは困難であるため引き続き警戒していただき、アフリカ豚熱、口蹄疫等の家畜伝染病対応も念頭においた飼養衛生管理を徹底した発生予防対策が不可欠です。

～防疫対策を万全にしましょう～

- 発生国への渡航自粛
- 侵入防止対策
 - ・ 関係者以外の立ち入り制限
 - ・ 消毒薬は適切な濃度で使用
 - ・ 踏み込み消毒槽は汚れてなくても、1日1回交換
 - ・ 消毒後の衣服や機材等が再汚染しないよう、適切な動線確保
 - ・ 防鳥ネットや防護柵等の野生動物侵入防止
- 飼養家畜の健康チェック&異常の早期発見
 - ・ 飼養家畜の毎日の健康観察
 - ・ 緊急時の連絡先の確認

～やむをえず渡航する場合は～

- ・ 家畜市場や畜産関連施設に立ち入らない
- ・ 肉製品等を持ち帰らない
- ・ 動物との不用意な接触を避ける
- ・ 帰国の際は動物検疫所に立ち寄る
- ・ 帰国後 1 週間は衛生管理区域に立ち入らない
- ・ 海外で使用した衣服、靴を衛生管理区域に持ち込まない

異状があれば、直ちに家畜保健衛生所に連絡を！

岐阜県中央家畜保健衛生所

電話番号：058-201-0530

時間外・夜間・休日は090-7024-5269

